

岩代 一宏 議員



Q

平成17年2月、南阿蘇村として産声をあげ4年が経過しようとしている。この間、村長をはじめ職員の皆さんには多くの難題を抱えながらも新たな村づくり、あるいは住民サービスの向上と日夜頑張ってきたことに敬意を表したい。

しかしながら、一方では住民の皆様方の中にはまだまだ不満が残っているのも事実である。そこで、それぞれの部署においての自己評価を願いたい。

A

村長

新しい村の長に就任させていただいたときの約束が「和」を基本に7つの課題を挙げさせていただいた。しかし、想像以上に世の中が激動し、三位一体の改革による交付税の減額など合併前の計画とずれてきた。

Q

この4年間必死になって取り組んでこられた中で、村づくりの計画書に照らしどどのようなことが成果として挙げられるのか、又課題が残ったとするならばどのようなことがあるのか。次年度に引き継いでいく上からも、それぞれの部署の責任者として生の声を聞かせていただきたい。庁内18課あるが今回は企画・建設・産業振興課の3課長に伺いたい。

A

企画課長

「世界一のカルデラのチフレーズに活力と個性ある地域づくりとして、村の大きな課題である観光と村づくりをテーマに取り組んできた。これから、農業と観光がより身近なものとして取り組まれるようにして、最終的には農家レストランあるいは農家民宿、また地元の農産品がこういった交流事業の中で取り扱われるような観光と農業作りを進めていきたい。

A

建設課長

合併時の新村総合計画、建設計画に基づきながら事業の推進、促進を図ってきた。今後については、これ等を見直した中で5年先、10年先の実施計画、過疎計画、財政計画などで整合性を保ちながら地域と一体となった整備計画を樹立しながら、地域活性化の基盤整備を進めてまいりたい。

A

産業振興課長

今後、今までに業者との連携や、グリーンツーリズム、エコツーリズムも含めて消費者との交流を推進し、地域の活性化を図って行きたい。また、合併後の事業として新たに農地・水環境保全対策事業に取り組み、県、市の補助により、地区ごとに様々な農地を取り巻く問題や課題に幅の広い対策や事業の実施ができるようになっていけると感じている。特に本年は長野様からのご好意による「南阿蘇村さくら日本一づくり運動」に着手し、後世に残すべく貴重な村の財産として見守っていきたい。



「南阿蘇村桜公園」記念碑除幕式の様子



記念植樹のようす（グリーンピア）右が苗を寄贈された「長野貞春」氏